

バスは行く！

第21回～仙崎、青海島と湯本温泉の旅～

2009年4月22日 参加者 29名
スタッフ10名



第21回目のバスハイクの行き先は、「海上アルプス」と呼ばれる青海島（仙崎港）と長門湯本温泉です。青海島は日本百景にも選定されており、日本海の荒波が削った侵食地形、洞門、岩礁が連なる景勝地で、まさに大自然が作り出した美術館という名にふさわしい名所です。その入口にあたる仙崎は、かまぼこ童謡詩人の「金子みすゞ」で有名な港町です。

そして昼食は湯本温泉の大谷山荘にて、季節よりどりの美味しい御膳を。こちらの湯本温泉街には、定庵禅師（1373年～1432年）と老人（住吉大明神）の出会いにまつわる伝説が残っています。また、春は桜・夏は蛍にかじか・秋には紅葉・冬には雪景色と四季折々の自然の彩りを散策できます。

このような風情あふれる歴史ゆかしき場所へ、在宅酸素友の会「ひまわり」の皆さんとバスハイク。小春日和のなか、気持ち良く過ごすことができたのではないのでしょうか。

今回も多くの方々に参加いただき、当院の同行スタッフも張り切って行って参りました。



出発前のバイタルチェック



当院のドクターとパシャリ☆



バス内はゲームで大盛り上がり♪



お昼は豪華な御膳を堪能しました！

今回、バスハイクにスタッフとして初めて参加させていただきましたが、私自身もずいぶん楽しませてもらったように思います。患者さんたちの楽しみぶり、行った先々での笑顔、キレイな景色と美味しい食事（特に名物のかまぼこ）、それらを一緒に行動している自分も自然と笑顔になっていました。そして、患者さん同士で笑ったり話したりしている様子を見て「仲間のチカラで凄いなあ」とつくづく感じました。一人だと旅行や外出は不安から気分もおっくうになってしま



いますが、友人や仲間がいると気持ちも軽やかに、旅行も外出も楽しめます。バスハイクがそんな「仲間づくり」のきっかけになると思いました。

リハビリスタッフとして、今後は患者さんたちが外出する際の不安を少しでも取り除けるような工夫あるリハビリを目指していきたいと思います！
（理学療法士 松田 貴子）



スタッフもモリモリ食べています！



ラブラブ(?) ツーショット♪



気の合うお友達と楽しいひととき



青海島特産物コーナーでお買い物